

平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	県営水道受水事業				
根拠法令等	水道法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適で安らぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	水道水を
手 段	愛知県から購入することにより
想定する成果	安定的な水道水の供給の確保を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
受水量	10,948,090m ³	10,849,631m ³	11,170,000m ³
受水費	823,352,386円	883,435,839円 (12月分換算815,479,236円)	826,757,000円
節水日数	0日	109日	50日

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	節水日数率	対前年受水率
成果指標の説明	節水日数/365日×100	当年度受水量/前年度受水量×100

⑤事業の進捗状況（水道事業会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	13.7%
	実績	0.0%	29.9%	—
成果指標 ②	計画	—	—	103.0%
	実績	102.2%	99.1%	—
事業費	事業費	824,016	816,111	827,273
	人件費	804	805	796
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	824,820	816,916	828,069
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	824,820	816,916	828,069

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	天候（降雨量の減少）に左右され、節水が求められることがあり、安定的な水道水の供給が図れない。
経済効率性	2	2	愛知県の供給単価に左右されるため、コスト低減の余地が少ない。
事務効率性	3	3	受水費の支払事務だけであり、効率的である。
必要性	3	3	水道事業の根幹である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	毎年1回、市民参加の水現地視察を実施し、水の大切さへの理解を深めているが、多くの市民が参加できない。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	水は市民にとってなくてはならないものであり、最重要。
------	---	---	----------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
県水流入制御装置を設置し、最大配水量の制限をした。	

⑧今後改善すべき点

自己水源を確保し、渇水期に備えたい。

⑨平成19年度予算に反映する項目

承認基本水量は37,300m ³ /日。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
事業コード		事務事業名	待機業務委託事業	
根拠法令等	待機当番業務委託実施要綱	A法令	B条例	C規則
		Dその他	Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適で安らぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	夜間・休日の漏水通報に対して
手 段	水道工事事業者に待機業務を委託することによって
想定する成果	安定した水道水の供給の確保を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
出動回数	12件	15件	20件
待機業務委託料	2,960,000円	2,960,000円	2,960,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	出動1回当たりの委託料単価	待機水道工事事業者稼働率
	待機業務委託料/出動回数	出動回数/待機業務日数×100

⑤事業の進捗状況（水道事業会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	148,000円
	実績	246,666円	197,333円	—
成果指標 ②	計画	—	—	5.5%
	実績	3.3%	4.1%	—
事業費	事業費	3,060	3,060	3,060
	人件費	804	805	796
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	3,864	3,865	3,856
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,864	3,865	3,856

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	24時間体制で業者が待機しており、漏れなく対応できている。
経済効率性	2	2	昼夜につき7,980円と非常時の備えの費用として低額であり、効果的である。
事務効率性	2	2	
必要性	3	3	緊急な対応・施設の維持管理のため必要不可欠である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市民からの通報がほとんどである。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
今まで水道組合と契約していたものを、平成18年度より、待機当番業務希望者を募集し、水道工事事業者22社と契約を締結して業務の明確化を図った。	

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

平成18年度と同額で契約予定。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2205
事業コード		事務事業名	水道料金等収納事業	
根拠法令等	蒲郡市水道事業給水条例	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	料金未納者に
手 段	督促状の発送、各戸集金、給水停止措置等を実施することにより
想定する成果	上水道料金等の収納率アップを図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
調定金額	1,689,186,441円	1,652,561,788円	1,671,000,000円
収納金額	1,667,202,330円	1,615,288,499円	1,650,000,000円
未 収 金	21,984,111円	37,273,289円	21,000,000円
収 納 率	98.70%	97.75%	98.74%

④成果指標

成果指標名	①	②
	未 収 金 率	一人当たり未収金額
成果指標の説明	未収金額 / 調定金額	未収金額 / 職員数（2.7人）

⑤事業の進捗状況（水道事業会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	1.26%
	実績	1.30%	2.26%	—
成果指標 ②	計画	—	—	7,778千円
	実績	8,142千円	13,865千円	—
事業費	事業費	2,649	2,741	2,746
	人件費	21,697	21,719	21,481
	(人数)	2.7	2.7	2.7
	合計	24,346	24,460	24,227
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	24,346	24,460	24,227

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	17年度は、観光事業の低迷、不振などで未収金の額が増え、収納率が低下した。
経済効率性	2	2	未納者には、個々の事情があるので、経済的効率を追求すると収納額と公平性との矛盾が生じる。
事務効率性	2	2	事務の効率化を図るため、未納者の事前個別集金を優先的に実施している。
必要性	2	2	事業の財源確保、平等負担の立場から絶対に必要であるが一部は民間委託できる。（平成19年より実施）
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	未納料金に対する滞納整理業務は、一部私人委託業務としている。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	公共料金の収納事務は、公営事業の財源確保、使用者の料金公平負担の立場から重要な事業である。経費の削減、市民サービスの向上のために民間委託を実施する。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> ・2期分(4ヶ月分)の未納者に対し、生活状況、収入状況等を考慮して停水を実施している。 ・11年度から料金の支払いは市内の金融機関以外にコンビニでの24時間納入も行っている 	

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年から受付・収納等総合業務委託を実施するが、受託業者には、年次ごとの目標収納率の提示を求め、収納率の向上に努めさせる。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2205
事業コード		事務事業名	給水装置管理事業	
根拠法令等	蒲郡市水道事業給水条例	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象(受益者)	上水道受水者に
手 段	水道給水装置の開・閉栓作業により
想定する成果	水道水の供給を円滑にする

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
給水人口	83,085人	83,179人	83,408人
開・閉栓件数	4,146件	4,195件	4,244件
給水量	10,499,142m ³	10,304,253m ³	10,499,800m ³

④成果指標

成果指標名	①	②
	職員一人当たり取扱件数	職員一人当たり給水量
成果指標の説明	開・閉栓件数 / 担当職員数(2名)	給水量 / 損益勘定支弁職員数

⑤事業の進捗状況 (水道事業会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	2,122件
	実績	2,073件	2,098件	—
成果指標 ②	計画	—	—	456.5千m ³
	実績	437.5千m ³	448.0千m ³	—
事業費	事業費	2,073	2,097	2,000
	人件費	15,268	15,284	15,116
	(人数)	1.9	1.9	1.9
	合計	17,341	17,381	17,116
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	17,341	17,381	17,116

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	給水人口の増減により、給水量、給水栓数等、目的の達成度が大きく影響する。
経済効率性	2	2	平成19年1月より実施の料金業務包括的民間委託により職員削減計画及び人件費の削減を行なう。
事務効率性	2	2	新料金システムの導入により開・閉栓の受付及び水道情報の検索が等が簡単・迅速に行えるようになり現場対応が効率的にできる。
必要性	2	2	開・閉栓業務及び料金算定等は、上水道普及率から必要不可欠であるが、平成19年1月より料金業務包括的民間委託を実施する。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	開・閉栓業務等は特殊であり、市民の参加はない。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	公営企業として水道料金を算定する上で重要な事業である。経費の削減、市民サービスの向上のために民間委託を実施する。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> ・窓口だけの受付事務でなく、電話・ファックス・電子申請での受付も行っている。 ・料金の支払いは、市内の金融機関以外にコンビニでも行っている。 	

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託できるものは実施していく。（平成19年1月より開始） ・料金業務包括的民間委託に伴い、現在実施していない土日、休日等時間外での受付及び開閉栓作業を実施する。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

長期3年契約である料金業務包括的民間委託料の継続。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
事業コード		事務事業名	湧水に強いまちづくり事業	
根拠法令等	蒲郡市雨水利用簡易貯留槽購入費助成金交付要綱・蒲郡市井戸掘り事業助成金交付要綱	A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適で安らぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象(受益者)	本市に住所を有する個人・法人に
手 段	雨水簡易貯留槽の購入または井戸掘りに対する助成事業を実施することにより
想定する成果	湧水時における節水と節水意識の啓発を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
助成金額	14,000円	28,000円	242,000円
交付件数	1件	2件	10件

④成果指標

成果指標名	①	②
	助成金の交付率	給水栓数に対する割合
成果指標の説明	交付件数/予定交付件数×100	累積交付件数/給水栓数×100

⑤事業の進捗状況 (水道事業会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標①	計画	—	—	100.0%
	実績	5.3%	16.7%	—
成果指標②	計画	—	—	0.3%
	実績	0.2%	0.2%	—
事業費	事業費	473	375	245
	人件費	804	805	796
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,277	1,180	1,041
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,277	1,180	1,041

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	助成金交付者が減少傾向にある。
経済効率性	1	1	
事務効率性	2	2	事務作業が簡略である。
必要性	2	2	渇水に見舞われる本市にとって、必要な事業である。
小計	6 / 12 満点中	6 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	補助額が少ないため、申請者が少ない。
合計	7 / 15 満点中	7 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	渇水対策事業として必要である。
------	---	---	-----------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
広報がまごおりへの掲載頻度を増やし、ホームページへの掲載など市民へのPRを行ってきた。また、取扱うカーマやカインズなどにも助成制度を説明し、利用者のPRに努めてきた。	

⑧今後改善すべき点

今以上に市民へ制度の周知を図っていく。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】